

令和7年度 第2回宇治市部活動地域移行検討委員会会議録

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 会議名                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 令和7年度 第2回宇治市部活動地域移行検討委員会                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 日時                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 令和7年9月1日(月) 17時30分～19時30分                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 場所                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 宇治市役所8階 大会議室                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 出席者                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | <p>(委員) 長積委員長 林口副委員長 平田委員(欠席) 木村委員 矢野委員(欠席)</p> <p>中西委員 青木委員 杉本委員 小野委員 須田委員 村上委員</p> <p>(事務局) 福井教育部長 川崎教育副部長 武田教育総合推進センター長</p> <p>安留学校教育課長 福山生涯学習課長 葛山学校教育副課長</p> <p>一井学校教育課総括指導主事兼教育指導係長 寺内指導主事</p> <p>吉田学校教育指導主事</p> <p>脇坂産業観光部長 齊藤産業観光副部長 吉田文化スポーツ課長</p> <p>倉井文化スポーツ副課長 菅居文化スポーツ課スポーツ係長</p> |
| 配布資料                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 令和7年度第2回宇治市部活動地域移行検討委員会説明資料                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| <p>1 開会</p> <p>開会挨拶(事務局)</p> <p>2 報告及び協議事項</p> <p>(1) 令和7年度の実践研究事業について</p> <p>(2) 「地域スポーツ・文化芸術創造と部活動改革に関する実行会議」最終とりまとめについて</p> <p>(3) 宇治市立中学校へのヒアリングに基づく地域展開に向けた学校部活動の現状について</p> <p>(4) 令和8年度の実践研究事業について(案)</p> <p>(委員長)</p> <p>令和7年度の実践事業について説明をお願いしたい。</p> <p>(事務局)</p> <p>事務局から説明。</p> <p>(委員)</p> <p>生徒がスマートフォンは持ってきてもよいのか。</p> <p>(事務局)</p> <p>各家庭の判断で、生徒に必要なものを持たせていただくようにしている。</p> <p>(委員)</p> <p>自転車の保険に係る費用は保護者負担か。</p> <p>(事務局)</p> <p>自転車保険の加入やヘルメットの費用負担は保護者をお願いしている。</p> <p>(委員)</p> <p>今年度の実践研究事業はソフトテニスだけだが、あらゆる部活動で地域展開を行うとなったときに、事務局は今年度同様のバックアップ等が可能か。</p> <p>(事務局)</p> |                                                                                                                                                                                                                                                                                                |

今年度生徒が安全安心に活動できる体制づくりを最重要に考え、検討を進めてきた経緯がある。一方で今年度と同様の体制が地域クラブ全てで適用できるかという点、難しい。生徒が安全・安心に取り組める体制を整えながら、持続可能な地域クラブ活動が行える形を探っていく必要がある。

(委員長)

この地域クラブをどのような形で運営していくか、活動をオペレーションしていくための団体をどうやって形成するかは大きな課題になるため、継続して考えていただきたい。運営団体は、非常に大きなかぎを握っている。

(委員)

マチコミメールの登録状況はどうか。

(事務局)

登録しておられる保護者がいる一方で、まだ登録されていない保護者もいるため、登録されていない保護者には事務局から登録をお願いしていく。

(委員)

地域活動当日は学校管理外となっているが、学校で活動する日もある中で、学校管理外となっているのはどういうことか。

(事務局)

地域クラブ活動は学校の部活動と異なる活動だと考えており、地域クラブが学校施設をお借りして実施する形を想定している。

(委員)

地域クラブ活動当日、事務局は何名程参加予定か。

(事務局)

具体的に事務局が何名参加するかについては今後検討を行う。

(委員)

事務局の負担も大きいように感じる。

(委員)

土曜日は学校に職員がいなければ、校舎内に入れられないため、そういった場合のAEDの使用についてはどのようにするのか。

(事務局)

黄檗中学校は誰でも使える場所に設置してあるが、東宇治中学校は校舎の鍵を開けて校舎内に入らないといけないうちに設置してある。実践研究事業に向けては、今後鍵の開け方や他会場のAEDの場所等も確認していく。

(委員長)

校舎内には普段施設開放で利用をされる方は入れない形か。

(委員)

入れない形になっている。

(委員)

学校施設を利用する団体すべてに当てはまることだが、本来AEDは校舎内と校舎外に用意する必要がある。それがクリアされると、安心して施設が利用できる。AEDが1台しかなく、リースで2台

目を用意した学校もあるように聞いており、今後の課題ではある。

(委員長)

今後のリスクマネジメントも兼ねて、実践研究事業までにAEDについて確認をお願いしたい。

(委員)

既に、学校施設を利用している方の安全・安心のためにもAEDは学校に2台は必要だと思う。

(委員長)

地域クラブ活動が学校を拠点にする際には、安全安心を確保するという視点で、AEDについて今後検討していただけたらよい。

(委員)

太陽が丘は、AEDはどこにあるのか。

(事務局)

今後、確認を行う。

(委員長)

次に「地域スポーツ・文化芸術創造と部活動改革に関する実行会議」最終とりまとめについて説明をお願いしたい。

(事務局)

事務局から説明。

(委員長)

地域展開という名称に変わっているのは、地域移行という名称は地域に活動をスライドするようなイメージがあるというところであったため、地域に展開し地域と一緒に新しい価値を創造していくという意図が表現されている。改革実行期間については、2028年度までには、アクションを起こして、何か仕掛けをしていくことを目標にしている自治体が多い。

このような課題を、これからクリアしなければならないということも見据えながら、自立的な活動を維持していくためにどうしていくかが問われると考えていただきたい。

(委員)

宇治市として例えば企業版ふるさと納税や、クラウドファンディングなど新たな市財源の確保について検討どのくらい進んでいるのか。

(事務局)

財源の確保等について、検討できていない。

(委員長)

外部資金を獲得できないと、受益者負担に頼るところが多くなるため、財源についても考えていく必要がある。多くの自治体で人とお金の枯渇が、活動が低調になることにつながってしまうという現状があるため、並行して考えてもらう必要がある。

(委員)

地方公共団体における推進体制の整備というところで、宇治市の総合型地域スポーツクラブは少なく、スポーツ少年団等は活動しているが、中学生が本当に交流して、一緒に活動できるのかなど、心配である。

(委員長)

方向性が定まっていない段階で危惧されるかもしれないが、宇治市がこのようなことで困っているから協力してもらいたいというような説明会を行ってみるのもよい。行き詰まっている点も含めて情報を出し、保護者の方々や色々な団体の方々に集まってもらうことを行ってもよい。色々な団体との連携や協働が重要であり、その方々を巻き込んでいかなければいけない。

(委員)

最近クラブチームが府大会や近畿大会、全国大会にも出ている。中学校の部活動は勝利至上主義ではないと言いながら、勝利至上主義だと言われてきたが、さらに、クラブチームが、参入してきたことによって、それがかなり加速化しているように感じる。

クラブチームのコミュニティがつくられ、そのコミュニティで競技力の向上などの話をされている。これまで部活動が学校生活の様々な部分と付随していることを考えてきたが、どんどん逸れていっているように感じることもある。ただ、記録はどんどん上がっている。そうではないクラブもあると思うが、そういった部分に難しさを感じる。

(委員長)

競技力が高いこと低いことの二極化や、競技力高い生徒と全く活動しない生徒の二極化にならないよう、考えなければならない。

(事務局)

地域クラブ活動を進めていくにあたって、生徒の主体性を尊重していくべきだと考えている。活動の楽しさだけでなく、生徒が自分でやりたい、行きたいと思えるようなやはり地域クラブの体制を整備していくことを将来的な目標として考えていく必要がある。

(委員長)

部員が集まらないのは人数的な話ではなく、強くなるためにクラブチームに入るという方向に進んでいる場合もある。それを止めることもできないため、学校管理外の公共性の高い宇治市が手がける地域クラブ活動の在り方について考えていく必要がある。

(委員)

指導者が競技力の高さを求めていくと、そういった難しさが出てくる。

(委員)

主体性は大切な反面、危惧される部分もある。教員側から考えると、子どもたちをどこに指し示して導いていくのかを考え、それに向かって主体性を育てている。指し示す方向が、どこになるのかによって、教育の面からすると、今まで部活動が培ってきたものが維持されるのだろうかという危惧がある。

(委員長)

これまでの部活動が教育的な色彩を帯び、子どもたちの成長を育むということが大きな前提にあり、義務教育の中で学校管理下の活動を行っていたことを考えると、子どもたちの成長が競技力だけに偏らないようにレギュレーション等を検討していく必要がある。

次に宇治市立中学校へのヒアリングに基づく地域展開に向けて学校部活動の現状について説明をお願いしたい。

(事務局)

事務局から説明。

(委員)

「教職員と教職員以外の指導者が連携して」という文言があるが、この教職員というのは、来年度の実践研究事業では教職員も指導者として参加するということか。

(事務局)

地域クラブ活動を実施してくためには、指導者の確保が大きな課題である。その中で学校の先生方の中で指導を行いたいという方がいらっしゃることも認識している。指導したいという先生方と、地域の方が連携して、指導したい先生方には指導者として入っていただくことも来年度の実践研究事業では検証していきたい。

(委員長)

兼職兼業の教職員が部活動を指導する形だけでは、実践研究にならないと思う。それだけではないシナジーが生み出せると良い。

(委員)

学校や地域によって部活動の現状が異なり、それぞれの課題に即した形を模索していく必要があるというところが、まさに地域移行をどういう形で今後進めていくかが問われている。アプローチの仕方が同じ宇治市内でも地域によって大きく異なると思う。それぞれのアプローチがあつてよいと思うが、事務局としての考えはどうか。

(事務局)

現状で、明確に定められていない。今後、宇治市に合った形を模索していく必要がある。

(委員長)

今後具体的な形を定められると良い。例えば、学校を拠点としながら合同部活の場合や、公共施設を拠点にする場合、近隣の学校と拠点校部活動の素地を生かす場合など、モデルのようなものが一定、見えてきたほうが議論しやすくなる。

次に、令和8年度の実践研究事業について(案)について説明をお願いしたい。

(事務局)

事務局から説明。

(委員)

吹奏楽部の地域展開には大変難しい課題がある。楽器のことや場所のこと、移動のことなどの課題がある中で、部員数が少ない学校と一緒に練習する活動を顧問が自主的に年間、何度か行っている。その中で、指導者が持っている技術を全体の合奏の中で、両方の学校のほうに教える活動も行っている。顧問は吹奏楽コンクールにも出たい、自分の学校のクラブは維持したいと思っているが、人数が少ない故に、活動の幅が広がらないことは課題だと思っている。そういった点で、合同の練習の場所ができることは、すごくメリットがあると思った。

地域クラブをつくることは今の時点では難しいが、これから子どもが減っていき、吹奏楽の指導が難しいと思っている先生もいることを考えると、今後こういう形があつてもいいと感じた。

(委員長)

現状では一定活動が維持できるし、それを熱心に指導される先生がいて、ふだんから連携もしているということだった。横のつながりそのものはもうできているということだが、各学校でコンクールに出たいから、クラブ化みたいなのところに至っていないものの、その素地はある。吹奏楽で検証を行っ

ていくのか。

(事務局)

吹奏楽で進めていくということも視野に入れながら、他の文化系部活動も視野に入れながら、考えている。

(委員長)

他の文化系部活動の目星はあるのか。

(事務局)

文化部の部活動で言うと、例えば美術部、科学部、家庭科部、技術部等の部活動がある。ただ、地域展開していくに当たって、ハードルが高いと感じているのが吹奏楽部であり、そこにチャレンジしたい反面、生徒が不利益を被ってはいけいないので、慎重に考えたい。

(委員長)

熱心な先生がいなくなったときにどうするかなど、ゆくゆく生じることを課題にして、連携の形を模索されるということなら検証になると思う。

(委員)

どこの学校も似たような状況か。

(委員)

10校ある中で、10人程度の学校が2校あり、少ないけれども一生懸命活動している。また一緒に集まって活動も行っている。一方で20人くらいの学校で、地域の指導員を入れながら活動している学校もある。新たな団体をつくることも、学校の楽器とか場所を利用しながらつくる形が模索できるのか。また、小さな学校で普段の練習は各学校だが、土日の練習を一緒にしようという形であれば、音楽の幅が広がることもある。

(委員)

それぞれの担当の楽器がある中で、二つの学校で一つのバンドにして行おうとすると、バランスをとるのはすごく難しい。合同でやることで、先生も生徒も、お互いに刺激を受けるということは期待できると思うが、音楽として美しいかどうかは、別の問題である。

(委員)

どの楽器も1人ずつであるため、問題は起こっていない。活動の人数が多いことで音色とか迫力を経験させたいという思いもある。ただ、今はそれを顧問が行っている現状があるので、あえて吹奏楽の地域展開を実践研究事業として取り組むかどうかは悩むところである。普段の部活動は顧問の先生だが、土日の指導は兼業兼職で指導が可能であるかなど、そういう形は少し面白いと感じた。

(委員)

吹奏楽部の活動は拠点校部活動を早めに整理していった上で地域展開していく形なのかなと感じた。

(委員)

拠点校になると、現在の部を維持しない形になる。部を両方維持しながら、一緒に集まって練習する合同練習の形を考えている。

(委員)

合同で行っているような内容が休日の地域展開につながっていくようなイメージか。

(委員長)

そういった場合もあるかもしれないし、各学校でコンクール出たい、活動の幅を広げるようなコンクールではないコンサートのようなものを開く時には集まって行うことができる素地はもう今でもある。

(委員)

確かに地域展開が難しそうだが、早めにどうなのかを検証しておいた方が良いように感じる。

(委員)

来年度の実践研究事業では、教員の兼職兼業を検証するということだが、兼職兼業の教員は報酬がもらえるのか。現状、部活動指導員を活用しているが、部活動指導員と同様の報酬が出るのであれば、指導したいという教員もいるのではないか。一方で指導力がない教員でも、指導したいという場合それを受け入れるかどうかの基準は想定しているのか。

実際、その種目等を経験したことはないが顧問として活動している教員がおり、生徒もその指導を前向きに受け止めているところがある。だが、技術的な指導は難しい部分もあるため、そういった場合はどうなるのか。

(事務局)

兼職兼業の場合、報酬が出る想定はしているが、具体額は詰め切れていない。他市町村では部活動指導員並みの報酬額を定めているところもある。また、教員の指導力について判断することは難しい部分もある。その中で兼職兼業を教員が行いたいと思われるかどうかの基本になる。その上で、学校長の判断を踏まえて認めるという形になる。具体的な内容については、今後事務局内でさらに検討していく。

(委員長)

教員の休日の特別勤務手当は出ているのか。

(委員)

出ているが、部活動指導員に比べるととても少ない。

(委員)

文化系の活動に、スポーツ安全保険は適用されるのか。

(事務局)

適用される。地域クラブ活動の行き帰りの道中も保障に含まれる。

(委員)

来年度の実践研究事業の運営体制について、検討委員会事務局が運営団体となり、地域クラブを設置し指導員を配置するとなっている。今後、実践研究事業を増やしていく可能性もある中で、この形のまま事務局が担っていくことができるのか。別の組織をつくるなどの予定が来年度あるのかなと感じた。新しい部署を作っても実証するのもよいのではないか。

(事務局)

来年度は事務局が運営を担っていく形になる。一方で、運営団体をどうしていくかということが1番の検討課題だと思っている。運営団体を地域の方が担うのか、行政が担うのかなど、今後も様々な角度から検討を進めていきたいと考えている。

(委員長)

財源があるかどうかは別だが、恒久的に事務局が運営団体を担っていくのは無理だという話を前提とするならば、一定の期間は事務局が運営を担っても、他の運営団体の目星をつけるなどのイメージをしておかないと、急に転換はできない。少なからず運営のサポートとなる、運営団体に参画する人々を探していく方向も考えておかないといけない。

来年度、今年度実践研究事業で行ったソフトテニスの活動はどうしていくのか。今年度実証事業を行って、来年度は行わないとなると、何のための活動だったか見えないところもあるのではないかな。今年度の活動の中で布石を打って新しい胎動が残っていくようなこともできるのではないかな。

(事務局)

今年度の実践研究事業が始まっていないため、今年度の実践研究を行ってみてというところもある。今年度の実践研究事業の目的があるため、それを生かして来年度の実践研究事業化を行っていくということを考えている。

(委員長)

何か仕組みが残ることや地域クラブ活動という文化が残ることなど、何か布石を打ってもらいたい。実践研究事業のために、参画をしてもらうだけでなく、関わった人たちに新しい方向性が生まれていくという意識が継承される形になっていくとよい。また、今までにない活動を誰かに行ってもらうパターンもあってほしい。学校の部活動として提示することはできていないが、宇治市に縁がある、その素地を持っている団体を切り開いて、子どもたちが参画できる今までの部活動にない種目の活動などを仕掛けてもらいたい。

宇治市が考えていることに参画したり、関わる人を増やしたりしていかない限り、固定されたメンバーで活動していかなければならなくなる。できる限りたくさんの方々が関わって、知ってもらって、参画してもらって、運営団体の素地をつくっていくことも必要になる。その辺りの新しい仕掛けを行っていかないと新しいムーブメントはできないということも少し配慮していただければいいと思う。

(委員)

合気道の先生にお世話になったときに、もっと広めたいが広める場がないという話があった。競技等を広めたい、やりたいという地域の方は結構いるかもしれない。部活動の種目に合気道はないが、部活動にない種目を行うことで子どもたちの選択肢が広がることは大事であるため、指導者等を募り、発掘しないと活動の幅が広がっていかないように感じる。

(委員長)

今考えていることに1人でも多くの方々が、加わっていくような形をとっていかないといけないと思う。令和8年度の実践研究も踏まえて、同時に宇治市が目指す方向性のファーストステップ、セカンドステップ、サードステップのような道筋を今年度中に議論できるようにしていただければと思う。目指そうとしていることがイメージできるものがあるほうが議論しやすいため、令和8年度に向けた内容を踏まえながら、令和7年度の中でそのような形が見えてくればいいと思う。

(委員)

新しいクラブをぜひやっていただきたいと思った。合気道や、ワンダーフォーゲルもいいと思った。いろいろな新しいことを行おうとすると、結局色々な人材を発掘することにつながると思うので、そういったところも検討していただけたらと思う。

(委員)

宇治市には人材バンクがあるが、その中で教えたいという人はいるのではないか。

(事務局)

生涯学習課で人材バンクを運用している。様々な種目の方がおられるが、すぐに指導ができるような形にはなっていない部分もある。今後も人材バンクに登録していただける方の数を増やしていきたいと考えている。

(委員長)

皆さんから頂いた意見を踏まえながら、少し先も見据えたところと、現実的なところもリスクマネジメントをすることも考えていく必要がある。次年度に向けたものと、今年はまだ実践研究事業そのものがまだ始まってないということもあるので、12月6日と13日が視察と位置付けられているため、セッティングも考えて、指導されている方から話を聞けようにするなどのパッケージにできるよう事務局と相談しながら、視察ができるようにしたいと思う。

(委員)

宇治市の10中学校の部活動の一覧のようなものはあるか。今学校ごとにどういう差があるのかが知りたい。

(事務局)

今年度版の一覧を改めてご用意する。

(委員長)

合わせて、宇治市の中学校がどこにあるのかが分かる資料があればいただきたい。

### 3 閉会

閉会挨拶 (事務局)